



令和4年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和4年2月10日

上場会社名 東洋精糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2107

URL <https://www.toyosugar.co.jp>

代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)大浦 理

問合せ先責任者(役職名)取締役管理本部長 (氏名)吉武 孝夫 (TEL)03(3668)7871

四半期報告書提出予定日 令和4年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年3月期第3四半期の連結業績(令和3年4月1日~令和3年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年3月期第3四半期	10,213	5.1	564	△19.3	628	△18.8	441	42.0
3年3月期第3四半期	9,718	△6.7	699	△15.2	774	△12.3	310	△50.0

(注) 包括利益 4年3月期第3四半期 434百万円(42.1%) 3年3月期第3四半期 305百万円(△48.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年3月期第3四半期	80.96	—
3年3月期第3四半期	57.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年3月期第3四半期	11,667	9,656	82.8
3年3月期	11,184	9,413	84.2

(参考) 自己資本 4年3月期第3四半期 9,656百万円 3年3月期 9,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
4年3月期	—	0.00	—		
4年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年3月期の連結業績予想(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	△0.8	720	△13.1	790	△13.0	550	86.1	100.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年3月期3Q	5,456,000株	3年3月期	5,456,000株
② 期末自己株式数	4年3月期3Q	3,308株	3年3月期	3,308株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4年3月期3Q	5,452,692株	3年3月期3Q	5,452,692株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進捗などにより感染者数が大幅に減少し、9月末には緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が解除され、社会経済活動に回復の動きが見られました。しかしながら、11月末に国内初のオミクロン株の感染者が確認されるなど、再び先行き不透明な状況となりました。

このような状況下、当社グループは、引き続き感染防止対策を徹底するとともに事業活動を進め、安全・安心な製品をお客様に安定的に供給してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高10,213百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益564百万円(前年同期比19.3%減)、経常利益628百万円(前年同期比18.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は441百万円(前年同期比42.0%増)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより売上高は474百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益には影響はありません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 砂糖事業

販売量は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進捗や人流の増加等により、前年同期の同感染症拡大の影響による大幅な減少からは一定の回復が見られ、売上高は9,267百万円(前年同期比4.2%増)となりましたが、未だ平年並みの水準には戻らない状況であります。営業利益は、ニューヨーク粗糖先物相場、海上運賃の上昇や円安等の影響を受けた原料輸入価格の高騰等により、826百万円(前年同期比17.1%減)となりました。なお、収益認識に関する会計基準等の適用により売上高は474百万円減少しておりますが、営業利益には影響はありません。

## 機能素材事業

販売量は、新規ユーザー獲得及び企画商品への製品採用など飲料・一般食品向けに加えてサプリメント向けのルチンやステビアが好調に推移したことや化粧品原料も回復基調であることから前年同期を上回り、売上高は945百万円(前年同期比14.7%増)、営業利益は161百万円(前年同期比41.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金や受取手形、売掛金及び契約資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ483百万円増加し11,667百万円となりました。負債合計は、未払法人税等の減少などがあるものの、支払手形及び買掛金や流動負債その他の増加などにより、前連結会計年度末に比べ239百万円増加し2,011百万円となりました。純資産合計は、配当金の支払などがあるものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ243百万円増加し9,656百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.2%から82.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年3月期の連結業績予想につきましては、令和3年5月13日付「令和3年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和3年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,491	3,714
受取手形及び売掛金	1,346	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	1,581
商品及び製品	1,021	1,086
仕掛品	152	155
原材料及び貯蔵品	786	698
短期貸付金	854	860
その他	74	80
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	7,716	8,162
固定資産		
有形固定資産	419	427
無形固定資産	27	22
投資その他の資産		
投資有価証券	956	981
長期貸付金	1,792	1,806
退職給付に係る資産	119	120
その他	158	153
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	3,021	3,055
固定資産合計	3,468	3,505
資産合計	11,184	11,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和3年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	773	968
未払法人税等	128	86
賞与引当金	72	35
その他	393	458
流動負債合計	1,367	1,548
固定負債		
役員退職慰労引当金	38	50
退職給付に係る負債	327	339
資産除去債務	1	1
その他	37	71
固定負債合計	403	462
負債合計	1,771	2,011
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,904	2,904
利益剰余金	6,374	6,624
自己株式	△4	△4
株主資本合計	9,274	9,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	93
退職給付に係る調整累計額	42	38
その他の包括利益累計額合計	138	131
純資産合計	9,413	9,656
負債純資産合計	11,184	11,667

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)
売上高	9,718	10,213
売上原価	7,567	8,502
売上総利益	2,150	1,710
販売費及び一般管理費		
販売費	723	389
一般管理費	727	756
販売費及び一般管理費合計	1,451	1,146
営業利益	699	564
営業外収益		
受取利息	19	19
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	28	27
その他	17	7
営業外収益合計	76	65
営業外費用		
支払利息	1	0
棚卸資産廃棄損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	774	628
特別損失		
固定資産除却損	-	0
減損損失	240	-
特別損失合計	240	0
税金等調整前四半期純利益	533	627
法人税、住民税及び事業税	202	176
法人税等調整額	19	9
法人税等合計	222	186
四半期純利益	310	441
親会社株主に帰属する四半期純利益	310	441

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)
四半期純利益	310	441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△3
退職給付に係る調整額	0	△3
その他の包括利益合計	△5	△7
四半期包括利益	305	434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305	434



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	533	627
減価償却費	54	56
減損損失	240	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38	△37
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△4	△9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	15
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△18	12
受取利息及び受取配当金	△29	△31
支払利息	1	0
持分法による投資損益 (△は益)	△28	△27
有形固定資産除却損	-	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△256	△234
棚卸資産の増減額 (△は増加)	111	20
仕入債務の増減額 (△は減少)	76	195
未払金の増減額 (△は減少)	12	16
その他	39	59
小計	687	667
利息及び配当金の受取額	23	24
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△152	△215
営業活動によるキャッシュ・フロー	557	476
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28	△38
無形固定資産の取得による支出	-	△0
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
貸付けによる支出	△430	△450
貸付金の回収による収入	449	431
その他	△2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△271	△189
リース債務の返済による支出	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△771	△191
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△227	223
現金及び現金同等物の期首残高	3,229	3,491
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,001	3,714

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上してございました販売促進費等の一部を、売上高から控除しております。また、同一の顧客と同時に締結した複数の契約について、従来は契約毎に売上高及び売上原価を計上してございましたが、同一の商業的目的を有するものは単一の契約とみなし、当該契約に係る売上原価を売上高と相殺しております。

収益認識会計基準等の適用については収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は474百万円減少し、売上原価は135百万円減少し、販売費及び一般管理費は339百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高にも影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,893	824	9,718	—	9,718
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	8,894	824	9,718	△0	9,718
セグメント利益	997	113	1,111	△411	699

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地及び山林立木の減損損失240百万円を特別損失として計上しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,267	945	10,213	—	10,213
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	9,268	945	10,213	△0	10,213
セグメント利益	826	161	987	△423	564

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「砂糖事業」の外部顧客への売上高は474百万円減少しておりますが、セグメント利益には影響はありません。また、「機能素材事業」の外部顧客への売上高及びセグメント利益には影響はありません。